

2010年10月17日
東北大学「萩セミナー」

ワークショップ「計量分析からみる家族変動」

家族意識の変容

西野理子(東洋大学)

1

本報告の目的

- 家族意識＝性別役割分業意識に限定
- 1. 性別役割分業意識の観測上の変化
- 2. 性別役割分業意識と、性別役割の行動面との関連の変化
→観測した性別役割分業意識とは何かを検討

2

性別役割分業意識の変遷をめぐる議論

- ・ 分業意識の弱化
平等化、自由化
- ・ 近年みられる分業意識の強化
保守化

3

性別役割分業意識の概念をめぐる議論

- 大和(1995)
性別役割＝1)稼得役割 + 2)家事役割
- 神林(2000)
「多次元性」

4

性別役割分業意識の変化の説明をめぐる議論

変化を説明する主要因

- ・ 性、年齢、学歴、職業

変化を説明するメカニズム

- ・ 属性→意識形成→行動
- ・ 属性→行動(構造上の地位)→意識

5

性別役割分業意識



夫婦間での稼得
役割の分業
= 共働きの現状



夫婦間での家事
役割の分業
= 家事分担

6

用いるデータ

NFRJ98、03、08

「男性は外で働き、
女性は家庭を守るべきである」

「そう思う」= 4点

「どちらかといえばそう思う」= 3点

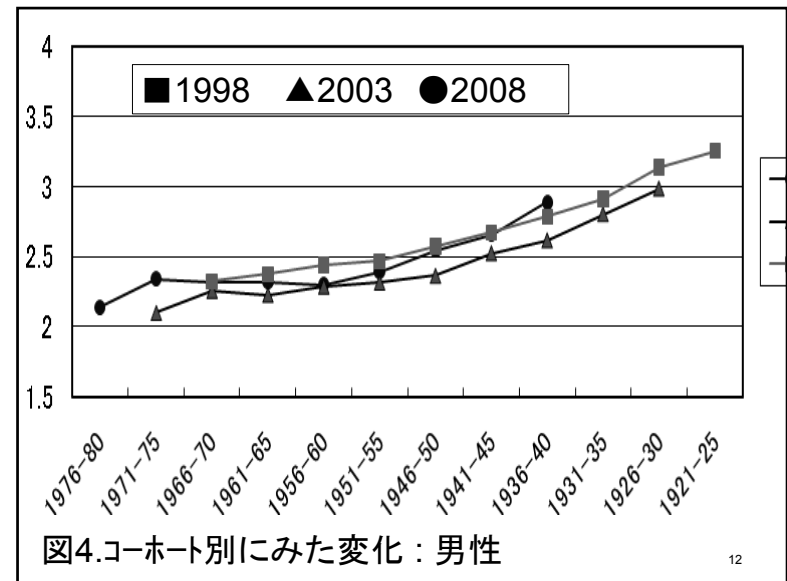
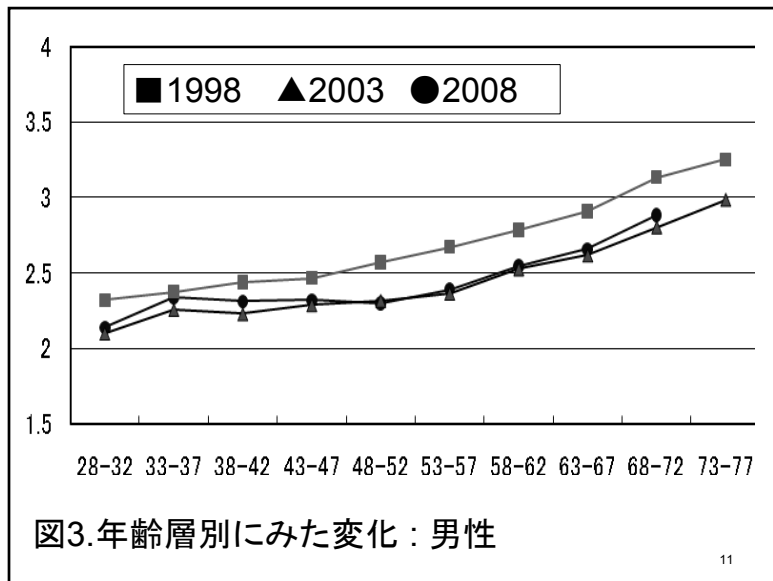
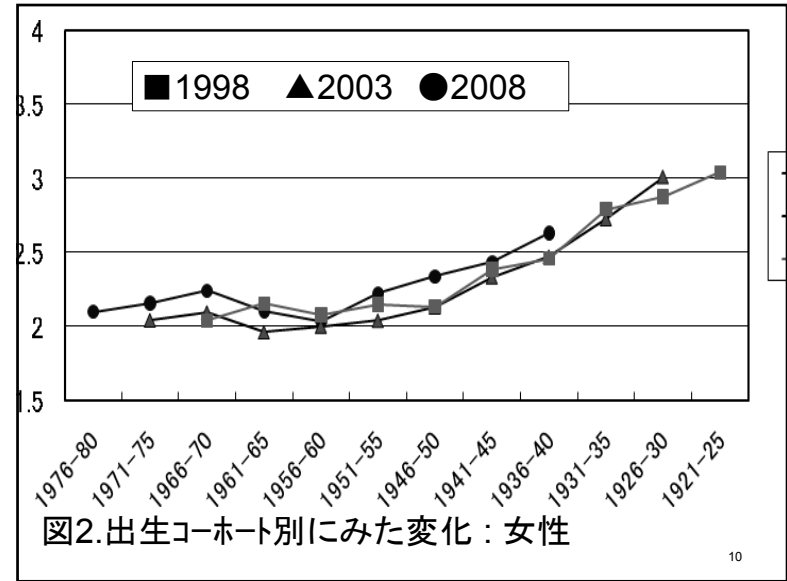
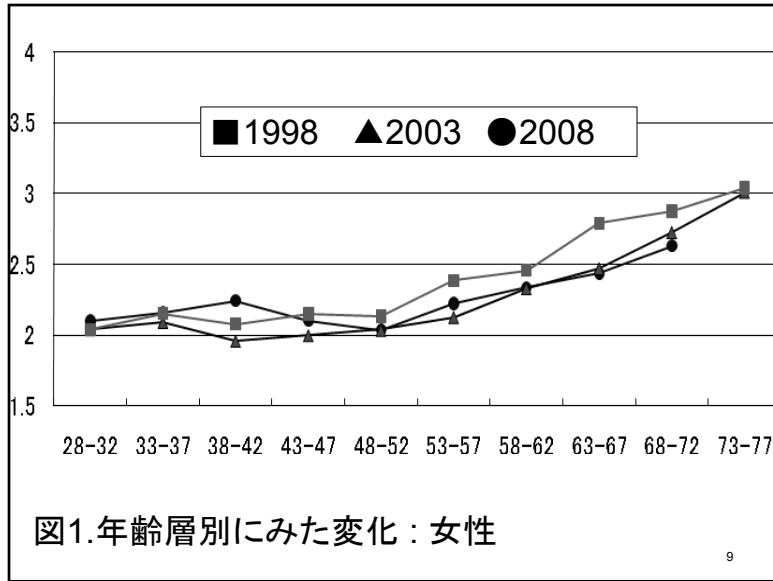
「どちらかといえばそう思わない」= 2点

「そう思わない」= 1点

7

1. 性別役割分業意識の 観測上の変化

8



2.
性別役割分業意識と、
性別役割の行動面との
関連の変化

13

分析 1:

性別役割分業意識と稼得役割との一
致度

標本＝既婚夫婦に限定
夫が無職の夫婦を除く

14

表2:性別役割分業意識別にみた、妻の現職[NFRJ03:%]

	男性					女性				
	N	正規被 雇用	非正規被 雇用	自営等	無職	N	正規被 雇用	非正規被 雇用	自営等	無職
全体	1903	17.08	29.74	11.72	41.46	2051	17.31	28.86	11.60	42.22
そう思う	251	7.97	23.11	11.95	56.97	153	3.92	20.92	23.53	51.63
どちらか はそう 思う	707	12.02	27.44	12.16	48.37	630	9.21	27.62	10.00	53.17
どちらか はそう 思う ない	464	18.53	33.84	11.42	36.21	592	14.53	31.59	11.82	42.06
そう思 わない	481	27.86	32.64	11.23	28.27	676	30.33	29.44	10.21	30.03

15

表1:性別役割分業意識別にみた、妻の現職[NFRJ98:%]

	男性					女性				
	N	正規被 雇用	非正規被 雇用	自営等	無職	N	正規被 雇用	非正規被 雇用	自営等	無職
全体	2258	20.50	22.50	14.70	42.20	2874	18.40	21.60	14.90	45.00
そう思う	483	9.50	16.60	13.90	60.00	413	8.20	12.30	15.50	63.90
どちらか はそう 思う	906	15.90	25.30	13.70	45.10	997	11.40	19.10	17.20	52.40
どちらか はそう 思う ない	402	26.90	25.90	14.40	32.80	645	20.60	29.50	12.10	37.80
そう思 わない	440	37.00	20.20	17.50	25.20	788	31.00	23.90	14.10	31.10

16

表3:性別役割分業意識別にみた、妻の現職[NFRJ08:%]

	男性					女性				
	N	正規被 雇用	非正規被 雇用	自営等	無職	N	正規被 雇用	非正規 被雇用	自営等	無職
全体	1591	19.50	31.40	9.70	39.40	211 2	16.40	31.20	9.60	42.90
そう思う	209	6.70	30.60	10.50	52.20	180	6.70	26.10	10.00	57.20
どちらか は ど う 思 う	667	13.60	30.60	9.60	46.20	780	10.30	29.10	9.40	51.30
ど か も 思 わ な い	359	22.60	35.70	9.70	32.00	578	16.30	34.10	8.70	41.00
そう 思 わ な い	345	34.80	28.70	9.60	27.00	560	28.80	33.20	10.50	27.50

17

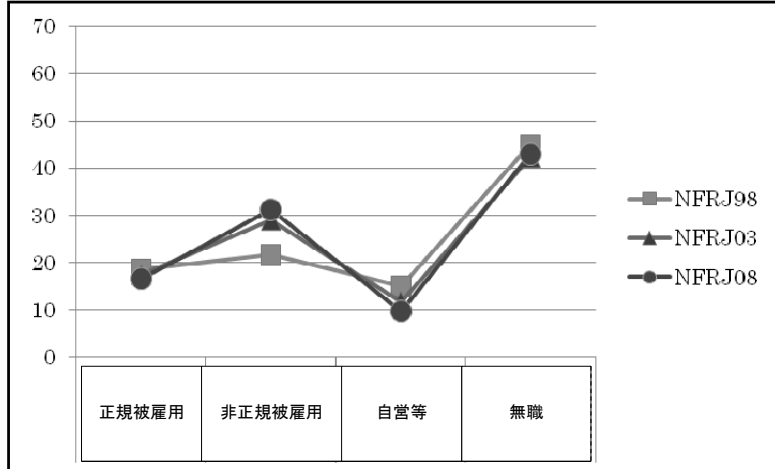


図5. 妻の職業上の地位の分布：女性全体

18

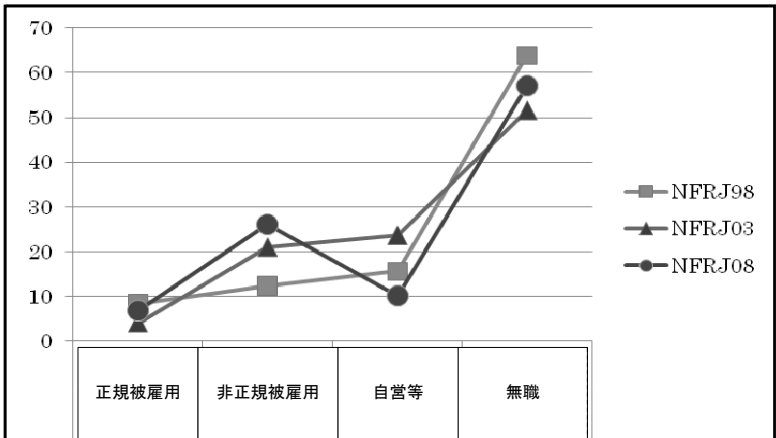


図6. 妻の職業上の地位の分布：性別役割分業に肯定的な女性(「そう思う」回答女性)のみ

19

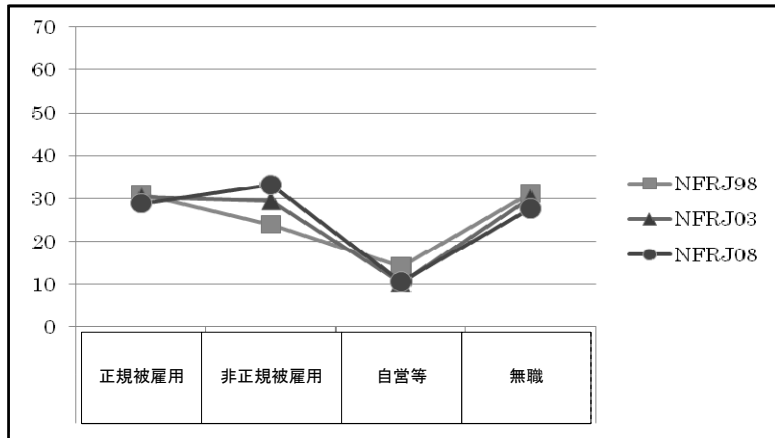


図7. 妻の職業上の地位の分布：性別役割分業に否定的な女性(「そう思わない」回答女性)のみ

20

分析 2:

性別役割分業意識と家事役割との一致度

標本 = 既婚男性のみ
無職者を除く

21

分析 2-1:

家事測度A

$$= 1)+2)+3)+4)+5)$$

(週7回 / 5回 / 3回 / 1回 / 0回)

- 1) 「食事の用意」
- 2) 「食事のあとかたづけ」
- 3) 「食料品や日用品の買い物」
- 4) 「洗濯」
- 5) 「そうじ(部屋、風呂、トイレなど)」

22

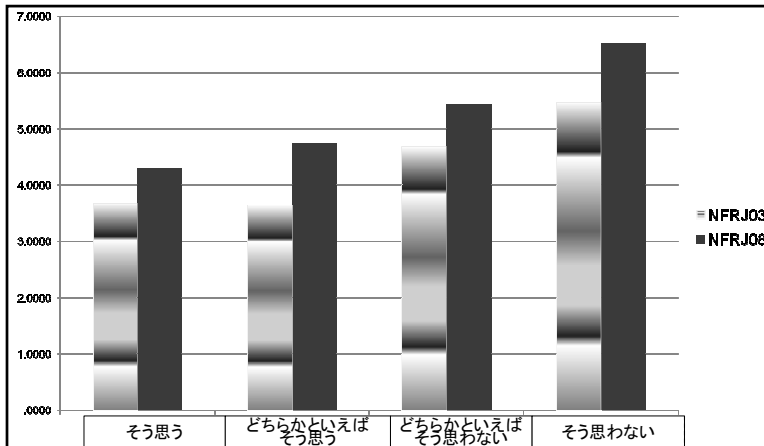


図8. 性別役割分業意識別にみた、
夫の家事頻度得点A₂₃

分析 2-2:

家事測度B

$$= 1)+2)$$

(週7回 / 5回 / 3回 / 1回 / 0回)

- 1) 「食事の用意」
- 2) 「食事のあとかたづけ」

24

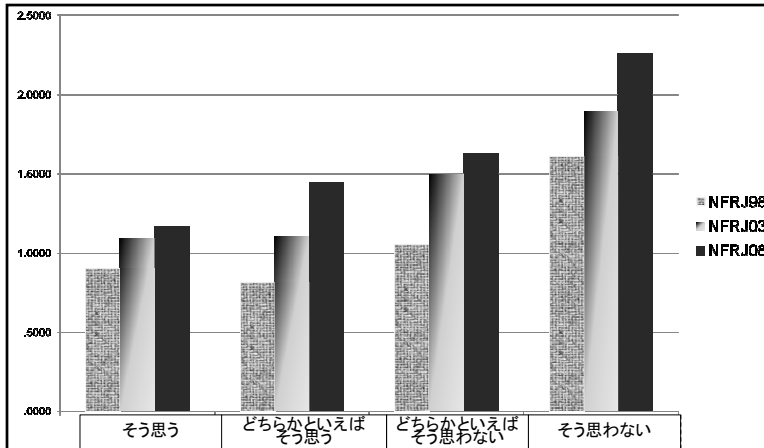


図9. 性別役割分業意識別にみた、
夫の家事頻度得点B

25

結論

1. 性別役割分業意識は、稼得役割と家事役割の2側面それぞれと関連が高い。

→ 性別役割分業意識における性別役割の概念は、「稼ぐ」と「家事をする」の2つの要素から構成されている。

26

結論

2. 意識面と行動面の性別役割分業は、稼得面でも家事面でも、高い一致を示す

3. この10年間で、その一致度は高まる傾向にある

4. 意識面の変動停滞からいえば、意識→行動がうかがえる

27

参考文献

- 神林博史、2000、「日本における性役割意識の動向と課題」東北社会学研究会『社会学研究』68:147-168
- 木村邦博、2000、「労働市場の構造と有配偶女性の意識」盛山和夫編『日本の階層システム4:ジェンダー・市場・家族』東京大学出版会:177-192
- 尾嶋史章、2000、「『理念』から『日常』へ:変容する性別役割分業意識」盛山和夫編『日本の階層システム4:ジェンダー・市場・家族』東京大学出版会:217-236
- Yamaguchi, Kazuo, 2001, "Multinomial Logit Latent-Class Regression Models: An Analysis of the Predictors of Gender-Role Attitudes among Japanese Women," *American Journal of Sociology*, 105(6):1702-1740
- 大和礼子、1995、「性別役割分業意識の二つの次元:「性による役割振り分け」と「愛による再生産役割」」『ソシオロジ』40(1):109-126